

(活動報告書様式)

| | | | |
|--------------|--|--------|-----------|
| 団体名 | 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 | | |
| 事業名 | 「世界のリアルを観て、触れて、発信しよう！」国際映画祭と自主上映会を通じた若者のボランティア活動促進事業 | | |
| 助成事業区分 | 協働助成事業（一般型） 【重点課題：若者のボランティア意識の醸成と活動への参加促進】 | | |
| 団体の 所在市町村 | 山形市 | 事業費 | 786,968 円 |
| | | うち助成金額 | 500,000 円 |



■事業目的

若者層に対するメディアリテラシー教育、その実践的能力養成の場であるはずの映像を基盤としたボランティア活動が極端に少ない。本事業では、若者層の「社会」に対する「気づき」を促すことで自発的なボランティア活動への意識を醸成し、多方面に渡る活動参加を促進する目的により、ワークショップ、実際のボランティア体験、自主上映会企画運営を行った。

■実施内容

①「国際映画祭の作り方」ワークショップ

作品鑑賞とフリートークを行い、映画を見ることの豊かさを体感したのち、「山形」と「国際」と「ドキュメンタリー映画」のキーワードでディスカッションを行った。

②「山形国際ドキュメンタリー映画祭」でのボランティア活動

10月8日から12日までの8日間の映画祭の中で、高校生64名、大学生31名が参加し、会場係、ゲストサポーター、司会進行などのボランティア活動を行った。

③自主上映会の企画運営

映画祭でボランティアをした高校生のうち有志7人が集い、自主上映会を行った。企画立案、チラシ・ポスター製作、当日進行、ゲスト対応まで全ての作業を高校生たちだけで行った。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

事業内容①～③を通して高校生70人、大学生36人、合計106人が映画による公益的な活動に携わった。同世代に

ドキュメンタリー映画の面白さを知ってもらうことを目的とした自主上映会では、高校生自ら声かけを行い、運営をサポートするボランティアを集め、新たに高校生3人、大学生4人を仲間とし、鑑賞者は185人を得た。自主上映に携わったメンバーは、映画祭ボランティアだけでなく、ジュニアリーダーや地域活性化に資するその他ボランティア活動に率先して関わっていく姿勢が見られ、「若者層のボランティア活動の促進」が達成されている。

②今後の展望

今回の事業で結成されたボランティアチーム〈ドキュ山ユース〉は自主運営を基本としてその後も継続し、高校生による野外上映企画なども成功させている。今後もこの自発的な活動を推進していく。